

世田谷・九条の会

世田谷・九条の会
ニュース No.42
2016年6月10日発行
(題字 西山簡石)

●事務局 〒154-0017 世田谷区世田谷 1-11-16 世田谷民商気付
Tel:03-6413-9547 Fax:03-6413-9548 Mail:setagaya-9jou@kzh.biglobe.ne.jp
●ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~setgagaya-9jou>
●郵便振替口座 記番号 00110-5-260741 世田谷・九条の会

九条こそが宝物

湯川 れい子

今は新緑が美しい5月末。今の「想定外内閣」の事だから、ひょっとしたら熊本の被害はそっちのけで、衆参両院選挙という暴挙に打って出ないとは限りません。

美しい日本を取り戻すなんて、嘘ばかり。日本はずっと昔も今も美しい国です。それが悲惨に傷つけられたのは、あの東京大空襲と広島、長崎への原爆投下。そして福島原発事故です。だから戦争と原発事故は二度と繰り返さないで欲しい。二度と、絶対に！



豊かな温泉がある火山列島に住んで来た私たちは、命に満ちた美しい海と、実りある豊かな大地さえあれば何度でも立ち直れます。

もう一度この小さな日本で原発事故が起きたら、住む処さえ無くなってしまいます。だから川内原発はすぐに止めて、玄海原発を動かす事など止めて下さい。すべては「想定内」で考えれば解ること。後方支援は武力行使と一体だから、集団的自衛権の行使は戦争のモト。地震、原発事故、停止中の原発も、無人機一機で狙われたら……。そんな時の為にこそある自衛隊なのです。

この小さな美しい日本が生き残る唯一の知恵は、「過去の戦争は間違っていた」というポツダム宣言を教訓に、ひたすらな友好外交と憲法九条を死守すること。それに勝る知恵があったら、どうぞ私に教えて下さい。 (音楽評論家・作詞家)

2000 万人統一署名運動を受けて一区内九条の会交流会開く

5月21日（土）今年に入って2回目の交流会が世田谷民商の会議室で開かれ、7団体から12人が参加しました。交流会は、酒井弘道さんの司会で進められ、冒頭に、立正大学名誉教授の金子勝さんに、『第九条』の国と『安保』の国との相克一改憲を阻止するために」と題して、話題提供いただきました。金子さんは、この



間の安倍自公政権の暴走を「憲法クーデター」と断じ、武力の保持と行使を禁じた「『第九条』の国」から、米国に従属して米国とともに世界中で「侵略戦争」する「『安保』の国」に変えてしまった、と語ります。ところがどのように解釈をまげようと、日本国憲法は、軍隊の保持を禁止し、戦争や武力行使に国民や地方自治体を動員することを厳然と禁止しています。このため、安倍自公政権と自民党は、次の段階として、国会で多数議席を得ている今、この夏の参議院選挙で補完勢力と共に2/3以上の議席を得て、自民党改憲草案に即した憲法の全面的な改定をめざす暴挙に出ようとしています。

これを阻止するために、金子さんは、「星の数ほどの」学習会、改憲反対運動を持ち、「星の数ほどの」憲法の語り部を出現させると共に、国会内外の政党、個人、団体が団結して、統一戦線組織「改憲阻止国民会議」を結成させることを提案されています。十分に解説いただく時間がとれませんでしたでしたが、自民党の改憲草案が資料として配布され、この問題点をよく学習することが必要だと話されました。もうひとつ大事なこととして強調されたのは、この統一戦線組織では、参加資格の平等、独善主義や反共主義を排し、寛容主義を貫徹すること、非暴力・平和主義に徹する

こと、外国資金や謀略資金を持ち込ませないことなど7項目の原則を守ることだということでした。

引き続き、以下のように各地域九条の会からの報告がありました。

代田・九条の会：

- 4/10 戦跡めぐり 横須賀市貝山地下壕 見学後、地元大津九条の会と交流 20名参加。
- 5/7 「憲法記念日に寄せて」講演と音楽のつどい。渋谷共同法律事務所の森孝博弁護士を招き、「日本国憲法をめぐる情勢と展望」と題する講演。東大原コーラスの合唱。45名の参加者のうち、2割が初参加だった。



- 毎月2回の下北沢駅、スーパー前での署名宣伝行動。最近は大津九条の会と一緒に。6月も継続して実施する予定。現在の到達点は約750筆。

代沢九条の会：

- 歴史は10年ほど。昔は戦災地図を作ったり、年配者の意見を聞いたりしていた。
- 会則や会員名簿を整備して、ちらし“掲示板”を作成して配布。
- 昨年9月には、「戦争法」採決強行直前に廃案を求める「声明文」を作り、233名の賛同者を得て、区議会議員、国会議員、新聞社などへ送付した（世田谷・九条の会ニュース No.39に掲載）。この賛同者に呼びかけることによって、2000万署名では3,000筆を目標に1,500筆にまで到達した。
- 署名ポストを商店会長宅や九条の会事務局長宅の前に置かせてもらって、投函してもらった。
- 喜多見九条の会のミニパンフを参考にして、8ページ立てのミニパンフ「皆さん！～平和でいるって、どういうことだと思いますか～」を作成し、配布した。

憲法9条に愛せられ憲法9条を愛する烏山地域の会：

- 5～10数名で毎月1回の9の日宣伝を10年間続けてきた。ピースパレードも2015年5月から毎月1回、コースを変えながら商店街を1.5kmほどの距離で実施してきた。

- 総がかり行動実行委員会の呼びかけに応じて 4 団体で共同の宣伝行動に取り組んできた。
- 学習会は適宜実施。5/3 は、中央集会には行けない人がいることを考慮して、11 年間、70～100 名規模で集会を開いている。今年は「どうなる、どうする中東の戦争」と題して 63 名が参加した。遠いように見える中東の戦争が日本と無関係ではないことを議論した。
- 毎年 10 月に烏山区民センターで開かれる地域の文化祭に、原発・核兵器など平和と戦争に関するさまざまな展示を続けてきた。今年も出展を予定している。

弦巻・新町九条の会：

- 学習会を中心に例会を通算 41 回開いてきた。100 余名の会員に署名用紙と訴えを送付し、拡散を呼びかけた。宛先を世田谷・九条の会とした。その他の集約を含め、500 筆を超えたと見ている。
- 6 月に都営住宅で宣伝行動し、行動後例会開催の予定。
- 新婦人の会と協力して、通学路や大学付近の公園で、主に学生さんを対象に署名活動をした。じっくり話したら、応答は良かった。



北沢川の
せせらぎに
来たコサギ

九条の会・まつざわ：

- 会には 150 人ほどの会員名簿があったが、あまり利用してこなかった。今回リニューアルして、会報を作り、送っていこうと考えている。
- 金子勝さんの講演会を続けている。次回講演会(6/18)については、東京新聞にちらしを折込み、区の掲示板に貼るなどして宣伝している。
- 下高井戸駅前で街頭宣伝署名活動を続けている。日大文理の前でもやったが、こちらの反応は弱かった。署名は目標 200 に対して、ようやく 3 桁に達した。

桜丘 9 条の会：

- 現在の緊迫した状況を見たとき、国会の与党議席数の圧倒的優位を崩さなければならない。今の九条の会の運動では間尺に合わないと考え、小選挙区での候補者一本化の運動を続けている。誰かが接着剤にならなければいけない。
- 5/19 に野党議員 200 人への働きかけを分担して実施した。

- 東京 5 区と 6 区での候補者一本化に向けて、4/30 に民進党、共産党、社民党の候補者や政党責任者に呼びかけて 140 人ほどで集会を開いた。これを“ちらし”にして、地域から政党のトップまで積み上げていこうと考えている。
- この運動には、ちらしを見て若い人がかなり集まってきている。

世田谷・九条の会：

- 2 週に 1 回の事務局会議を続けて、昨年秋以降、「世田谷・九条の会ニュース」を 10 月 (No.39)、2 月 (No.40)、4 月 (No.41) と発行した。
- 署名用紙を 12 月と 4 月に会員宛送付した。5/21 までの集計数は 4,021 筆。九条の会関係者の皆さんの奮闘に敬意。世田谷全体では約 60,000 筆、全国では 1200 万筆が集約されている (推進委員会ニュースおよび 5/3 憲法集会での発表)。署名期限の延長(6/30 まで)で、さらに上積みをめざす。
- 「戦争させない！九条こわすな！世田谷連絡会」で区労連、地区労、1000 人委員会とともに、世田谷・九条の会の 4 者が事務局を構成。2/7 統一宣伝行動 (134 名参加、314 筆)、3/19 区民集会とパレード(200 名参加)。6/12 に再度、区内 3 駅での統一宣伝行動を予定している。
- 九条の会東京連絡会 (月 1 回の会議) 都内九条の会との交流。東京連絡会は 6/6 に中野ゼロホールで講演と音楽の集いを開く。
- 大学門前前宣伝行動 風雨による中止、設定した時間帯のまずさなどもあって不十分な結果に終わった。
- 6/5 (日) 午後に総がかり行動実行委員会が、10 万人規模の大集会を予定している。6/5、6/6 と連続になるが、世田谷・九条の会事務局は参加する。



シラン

引き続き討論では、情勢についての話、それぞれの九条の会での名簿リストの更新と活用をはかること、また仮に署名がたくさん集まらなくても、街頭での「戦争法」廃止の宣伝が街の風景になる

ことが大事、すなわち「見える運動」が求められている、などの発言がありました。ほかに、当日欠席された喜多見九条の会から以下のような報告が届いています。

オリジナルミニパンフを活用して

喜多見九条の会 内山捷世

喜多見九条の会は、総がかり行動実行委員会の戦争法廃止を求める統一署名を154筆（5月20日現在）集めました。主に、昨年12月から4月にわたる4回の喜多見駅での駅頭宣伝で集めたものですが、知人、友人への署名依頼（切手を貼った返信用封筒を同封して）や外に出られないご高齢の会員が玄関口に署名簿を置いて、来客に依頼されたものも含まれます。

ささやかながら、154筆集めることができたのは、今までの下記の活動が土台となったと思います。

- ① 旧年はできなかったのですが、発足（2008年7月）以来、学習会をかねた総会を毎年開き、方針を立て、世話人を選出する。
- ② 世話人会は八月を除き、月1回行い、その時々々のニュースをもちより、お茶菓子をつまみながら、情勢を話し合い、当面の行動や会の運営をはかる。
- ③ 2010年10月の学習会をかねた総会で、お呼びしたコストリカ事務局長の小倉志郎さんのオリジナルパンフに啓発を受け、発行の了解を得て、喜多見九条の会のオリジナルパンフを製作しました。以来2011年1月より2ヶ月に1回の駅頭宣伝を行うようになりました。

特筆すべきは、私達喜多見九条の会のオリジナルパンフが世論づくりに少しずつ広がっていったことがあります。この小倉志郎さん考案のミニパンフは、次のような良い点があります。

- ① 手のひらサイズの8ページパンフで、ポイ捨てできない。
- ② 1ページ目の見出しで興味をひく。
- ③ なるべく電車の中でも、ちょっと目を通したくなるように、要点を得た短い文章とする。

そこで、私達もこの良い点を活用して、その時々での状況に合わせて、世話人会で討議して文案を練り、まとめ、最終的には、文章や内容について、会員の元大学の先生に点検して頂き、印刷、製本をくりかえしてきました。

ちなみに、今回のミニパンフは2014年6月『安倍政権の言う集団的自衛権って何、、、？』から、2015年9月19日の政府強行採決以降の状況に合わせて2016年1月19日の『私たちはあきらめない。安保法（戦争法）廃止を求めて』まで、6版を重ねました。最近では、マスコミ規制がかかってきつつある中、草の根の世論形成の一助になっていると自負しています。

最後に第6版の7ページめ、8ページめの紹介をし、喜多見9条の会の活動のまとめとします。

7ページ・・・この戦争法を廃止するために

- ① 選挙に行こう！
- ② この戦争法に賛成した党や議員に投票しないようにしましょう！
- ③ 野党が共闘するように働きかけよう！

8ページ・・・一人一人の行動が、自由と民主主義を守るのです。憲法九条を守ることが、『国民の命と暮らしを守る』のです。

このニュース No.42 では、この半年～1年を振り返って、個人的に感じられたことをエッセー風書いていただくよう何人かの方にお願ひしました。原稿をお寄せいただいた皆さまに感謝申し上げます。

立憲主義の危機

辻 萬長

僕は昭和十九年佐賀県生まれなので、戦後の記憶はありますが、爆弾に怯えた事はありません。でも、級友の中には戦争で親を亡くした子もいました。「民主主義が良い。戦争は懲り懲り」という空気の中で育ったので、戦争放棄の憲法を変えようとする時代が来るなんて思いもしませんでした。僕がかつて演じた吉野作造は、井上ひさし氏の作品「兄おとうと」の中で、「国民の未来を決める重大なことがら次から次と、議会の外で決められている」と嘆きました。時代設定は昭和七年十二月



イヌホオズキ (直径1cmほどの小さな白い花)

十七日。子供の頃僕は「戦争は懲り懲り」と言っている大人たちはどうして開戦に反対しなかったのか疑問に思っていました。民主主義ではなかったからと反論されましたが、きっと気付かなかったのだと今は思う。戦争への扉は密かに戦略的に開かれていくから。だから、議会の外で物事が決まり始めたら、「危ないぞー」と叫ぼうと思う。

2000 万署名に取り組んで

彦坂 和子

戦後日本の課題は核廃絶と憲法理念の実現ではないかと思っ、2本の柱に沿って生きてきたように思う。今回の署名にあたり地域で信頼関係が持てたのは、長年の子ども劇場の活動であり、東京子ども核廃の機関紙の回覧などと、世田谷親と子の平和のつどいのあゆみが大きかったと思っている。

或る宗教団体についてネット上で安保法案反対の声明を読んだので、お願いするとすぐに数枚の署名を集めてくださった。私事になりますが三鷹に住む娘がスポーツクラブや生協のメンバーに話して沢山集めてくれました。以前から意識の高い先輩や活動をしている年配の方の話を聞いていたようなので自然と影響を受けていたのだと嬉しく思っています。

これとは反対に自衛隊、警察病院に関連したことのある人は考え方が違うと言うことを知りました。

憲法誕生秘話としてベアテ・シロタ・ゴードンさんの“1945年のクリスマス”を読み返してみたいと思いました。

九条の会・まつざわ、九周年になります

荘司 美子

九条の会・まつざわ(松原、赤堤、桜上水、上北沢地域)は、2007年10月20日、北沢タウンホールで、坂本福子さんと立川談之助さんをゲストに迎え、晴れやかに？出発式を行いました。坂本福子さん、会の発案者の山崎治茂さんとも、今は亡き人です。出発式以前に準備会として、呼びかけ人の金子勝さん(立正大学名誉教授、鈴木安蔵氏愛弟子)



の「日本国憲法の生い立ち—鈴木安蔵氏と日本国憲法—」と題した憲法学習会が行われ、以来30回以上の憲法学習会を続けてきました。呼びかけ人である金子勝さんの日本国憲法に対する情熱と、危機感に負うところが大です。金子先生は、当初か

ら、「憲法の語り部になろう」と呼びかけてきたのですが、私達は、会場を確保したり、チラシを作ったり、ポスティングしたりの作業をこなすのに追われて、肝心の憲法の語り部になることは、未だ果たせていません。しかし、安倍政権の独断と偏見による集団的自衛権の行使容認と侵略戦争法の強行採決には、後がない、強い危機感を認識させられました。幸いにも、60代の世話人にもバトンタッチできて、何としても7月の参議院選は、負けられないと、新たな試練に挑戦しています。

代田九条の会を支える人々

野間口 至

代田九条の会は、8年ほど前の2008年11月に発足しました。この間、5月の憲法記念日と11月の文化の日に「講演と合唱のつどい」をナザレン教会・都民教会・代田教会の好意で、順次会場を借用して開催して来ました。3月・8月には戦争体験を語る会・戦跡めぐり・映画会等の小イベントを開催し、この5月で90号となる会報を毎月発行し、九条関連の集会に参加する等して来ました。そして「安倍内閣の集団的自衛権行使の閣議決定」への意思表示として、2014年10月に、結成以来初め



ての街頭行動を行い、更に2015年9月に国会で強行採決されたいわゆる「戦争法」の廃止を求める2千万署名運動に呼応して、街頭署名運動を月2回下北沢駅近くのオオゼキ前で実施して来ています。この3月からは代田九条の会の方々とも共同で続けています。

これらは、会の発足時自発的に集まった男女各4人の有志が世話人として支えています。皆多忙ですから、会の活動は月1回の事務局会議ですべてのことが決められ、実行されます。

会では、先ずその月の会報を袋詰めし、担当区域毎に登録された約200人に戸別配達（一部郵送）する準備をします。次に事務局長のO₁さんが作成されたレジュメに従い、月間の活動状況とこれからの活動が話し合われます。会報の項目、執筆者、期限もその会で決められ、編集・作成はI₁さんが一手にやって下さいます。昨年亡くなられた高岡さんは、的確な情勢分析で会の柱でした。街頭宣伝では率先してマイクを握られ、切々と訴えられるSさん、イベントの司会をみごとにこなすI₂さん、記録写真をこまめにとられるO₂さん、ほか、ことは皆さんの分担で和気あいあいと進められますが、このまとまりこそが会の宝と思う次第です。

一番困るのは若者、「あなたたちの問題なのよ！」

中田フミ子

女性3人で駒沢公園に出かけ、学生を対象に話しかけました。というのは5日前に駒大正門前で九条の会15～6名で行動したのに、ほとんど無視された悔しさがありました。その日の行動は駒大に近い側だったので、結構学生がたむろしていました。声をかけると、「おばさんいいから」あっち行けとばかりに、手をひらひらさせる子がいたり。私たちは孫に話しかけるように、「あんたたち選挙権あるんでしょ！このままほっといたらよその戦争に巻き込まれかねないと思わない？一番困るのはあなたたち若者なのよ」、「ほらここにシールズの名前も入っているのよ。知っているよね」と矢継ぎ早にお

婆さんの応酬。「俺、書くよ」「俺も」と丁寧(?)に話しかけると10人のうち7～8人は署名しました。今度は若ママのグループに。これがまた難しい。子どもがいるのになぜ？いつも不思議に思っていたが、住所を書くのが嫌なんだということが話しているうちに解りました。「書けるとこまででいい」と言



5月3日 憲法集会 野党党首4人が並び、50,000人が集まった

ったら、世田谷区とか目黒区まで。これだと結構書いてくれました。後で聞いたら、これ無効なんですと。これでもいいと思いますがね…。公園は皆がゆったりしているから話ができ楽しかったです。

教え子に手紙で訴えてみました

辻 怜子

懐かしい子どもたち—といっても、もう皆70歳をこえているのですけれど—22人に、手紙を書いて署名を呼びかけてみました。うれしいことに15人から手紙を添えて138筆の署名が帰ってきました。一人で35筆の人もいて、感動しました。送った手紙を記して、わたしの原稿に代えさせていただきます。

「みな様 その後お変わりございませんか。私はノロマながらも、行くべきところはでかけて活動しています。

日本が戦争に負けたときが、私の出発点でもありました。社会に出たとき新しい憲法のもとで「今度こそは」と気持ちを新しくしたものでしたが、それから、国として、ドイツのようにはっきりとした反省もなく、依然として古い日本を引きずった日々でした。

そして今、その日本国憲法も危機にひんしています。みんなで爽やかな日本に引きもどしたいと切望しています。

本日お願いしたのは、同封した用紙で「2000万署名」に参加していただきたいのです。

いま、日本全国で統一用紙をつかって、皆さんに呼びかけています。その趣旨は、同封の「戦争をやめて」という用紙に示してあります。できましたら、ご家族やお知り合いの方にもよびかけて、五名分満ぱいにしてお送りいただければうれしいです。四月末日に、まとめて国会に提出いたします。どうぞよろしくお願ひします。」

目黒・世田谷で衆院野党候補一本化にとりくんで

「市民連合 めぐろ・せたがや」 共同代表 鈴木国夫

憲法改悪を防ぐためには、衆院小選挙区では「野党候補の一本化」が必要です。そこで、政党間の橋渡しをする市民組織として「市民連合 めぐろ・せたがや」が2016年4月1日に結成されました。そして数回の集会と政策協議を経て、5月30日の集会では民進党、共産党、社民党の参加のもとで、一本化の前提となる政策協定の市民提案が発表できました。市民が動くことで、社会を動かす実践的経験となりました。

3月、桜丘9条の会に、菱山南帆子さんをお招きして、若い女性がなぜ、老練(?)な市民活動家になったのかというヒストリーを講演いただきました。小さい頃から常に見守ってくれた両親。先生が絶対ではないことを教えてくれた正面教師・反面教師。アフガン戦争・イラク戦争の不条理に共にたたかった中高年の市民活動家たち。これらの大人たちの中で、素直に自分の頭で考え、自分で行動する菱山さんが育った



ことがよく分かりました。菱山さんは永らく分裂してきた運動の協同を図っていく上で、接着剤の役割を担う貴重なポジションにあると思います。白髪が生えるまでは、議員にならず、運動の統一にご活躍いただきたいと思います。

ニュース No.41 を読んで、ほか振込用紙で寄せられた声

- ◆ News41 号ありがとうございます。酒井さんのエッセイ、興味深くよみました。僕も「一億一心、一億総動員、火の玉」時代の小国民でした。あんな社会は二度と再び子供たちに経験させたくないですね。 (4/12 M.A.さんから)
- ◆ きびしい年に入りました。私もがんばって生きておりますが、住みやすい日本になりますよう祈ります。 (4/18 橋中孝枝さんから)
- ◆ いつもありがとうございます。国会前に通っております。九条の大切さが増す問題山積の国際情勢ですね。 (4/22 E.O.さんから)

当面の行動予定

- 6月12日(日) 14:30～15:30 区内駅頭(三軒茶屋・下北沢・千歳烏山)「戦争させない!九条壊すな!世田谷連絡会」統一宣伝行動
- 6月19日(日) 国会前集会 総がかり行動実行委員会
- 6月22日(水) 参議院選挙公示、7月10日(日) 同投開票日

編集後記

○6月5日、全国100箇所以上で戦争法廃止を求める集会が開かれ、国会前の集会には4万人が参加。湯川れい子さんも壇上に。○同日、沖縄では、県議会議員選挙があり、翁長知事を支持する基地反対派が安定多数を占める勝利をおさめた。○6月6日には、九条の会東京連絡会の音楽と講演の会が開かれ、会場の中野ゼロホールは満席の盛況。○32の一人区すべてで野党統一候補。受託収賄疑惑の甘利元大臣が不起訴となり、「政務復帰」としらを切ろうと、参議院選挙に向け、安倍自公政権への包囲網は確実に狭まっている。